

## 第4学年 図画工作科

### 教科目標

- ① 豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに関心をもつとともに、進んで表現する態度を育てます。
- ② 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにします。
- ③ 自分たちの作品や身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心をもって見るとともに、それらに対する感覚を高めます。

### 学習計画

月	単元・題材名	時	学 習 活 動
4	○ 自分を見つめて	2	・ 鏡をよく見ながら自分の顔をかく。
5	○ コロコロガーレ	6	・ ビー玉が転がり落ちる仕組みを理解し、どのようにしたら楽しい転がり方をするかを考え、工夫して迷路をつくる。
6	○ ポスターをかこう	4	・ 環境に関することで感じたことや思ったことを表し方に工夫をしてポスターにする。
7	○ ねん土のひもから	2	・ 粘土のひもを丸めたり、のばしたり、つけたりして変化を楽しみ、できた形から想像を広げ立体に表す。
9	○ すてきなペーパーショップ	6	・ 集めた材料の形、色、材質感を生かして、効果的に画面構成をし、絵に表す。
	○ 心にのこったそのことを	6	・ 印象深い思い出の場面を選び、内容がよく表れるように、人やもの、まわりの様子など、形や色を工夫して絵に表す。
10	○ ゆめのれいぞう庫	6	・ 画用紙の一部を開くと、お話が展開する物語やお話の絵をつくる。
11	○ ここには、 きつというよ	2	・ 身のまわりのわくわくする場所や建物を見つけ、想像をふくらませたり、楽しく遊べたりする場所や環境の特徴を互いに紹介して、そのよさを味わう。
12	○ 光でうつし出す世界	8	・ 光や影でできる形や色を組み合わせでうつし出すことを楽しむ。
1	○ とび出すメッセージ	6	・ 飛び出す仕組みを理解し、特徴を生かせるアイデアを練り、表現を工夫する。パソコンの初歩的な機能を理解し、それらを生かして楽しいお知らせカードをつくる。
2	○ ほってすって	8	・ 彫刻刀を使って、自分の生活の一場面などから感じたことや体験したことなどを工夫しながら木版で表す。
3	○ ゆめの世界のゆめの家	4	・ 身近な材料を使って、その組み合わせ方や飾り方を工夫して、立体に表す。
授業時数の合計			60時間

### 図画工作科の評価は

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
造形への 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだそうとしているかどうかという観点から見ます。	・ 学習態度 ・ 準備、片付けの様子 ・ 材料の収集
発想や構想 の能力	感じたことや見たこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしているかどうかという観点から見ます。	・ 道具の扱い ・ 作成過程
創造的な 技能	手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫しているかどうかという観点から見ます。	・ 作品 ・ 鑑賞カード
鑑賞の 能力	身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いをとらえたり、よさや面白さを感じ取ったりしているかどうかという観点から見ます。	など総合的に 評価します。